

## 活かす通信

2022年1月 (174号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

国民政党に脱皮できるのか? 「維新の会」

★★

国内政局は臨時国会が21日に閉幕。来年度予算の年内編成に向けて作業が本格化した。岸田文雄首相と野党との本格論戦が展開され首相の“聞く力”が試され、「良い部分は取り入れる」との態度の首相を野党は攻めきれなかった。こうした中、10月末の総選挙で41議席を獲得し、衆議院で立憲民主党に次ぐ野党第2党に勢力を急増させた「日本維新の会」の動向が注目されたが、国会議員の文書通信交通滞在費（文通費）の問題で「国会議員が率先して身を切る改革を」と主張し、一部世論調査で立憲民主党より高支持率を得た程度。同党所属の新人議員が「1日も働いていないのに文通費として100万円貰うのはおかしい」と問題提起。文通費は日割り計算にするべく法律改正することで自民党も受け入れたが、文通費公開の原則は問題が多いとして次期通常国会の議論に委ねることになった。この文通費公開についての与野党合意が成立するまでは「各党が自分で処理すべきだ」（茂木自民党幹事長）と各党に下駄を預けた。まるで「大山鳴動してネズミー匹」の結果に。

○維新の躍進は“関西キー局”のお蔭

何故日本維新の会が躍進したのか。2012年12月の総選挙では54議席で当時の民主党の57議席に肉薄したことがあり、躍進の言葉に違和感があるが、11議席から41議席だけを見ると躍進しか表現出来ない。その“躍進”の背景には、コロナ禍への吉村洋文大阪府知事の対応を連日「関西キー局」が持ち上げすぎた側面が大きい。小池百合子東京都知事と比較して対応が早いとか、積極的に提案をしている点を強調した。しかし、現在のコロナ感染者数を見ると、必ずしも吉村知事が成功したとは限らない。また、全国の47都道府県のうち、「日本維新の会」の支部は約半数しかない。関西キー局の持ち上げ過ぎの成果としては、大阪のほぼ公認候補全勝を筆頭に関西圏くらいしか選挙区で勝ち上がったところはなく、あとは比例復活ばかり。これでは全国政党は無理というもの。

しかも臨時国会が始まる直前の12月2日夜、松井代表は同党所属の国会・地方議員、市長ら30人で先の総選挙の「反省会」を開いた。その人数の多さに加

えて大阪府がコロナの新規感染者数が激減したころとはいえ、会食のテーブル4名以内、2時間以内にとどめるよう対策を取っていたにも関わらず。さらに、愛知県知事リコール（実際は不正名簿）を取り仕切っていた事務局に維新の会関係者がいたり、吉村副代表が衆議院議員時代に1日の議員身分だったのに文通費を全額受け取っていたとか、馬場伸幸共同代表が政党助成金を飲み食いに使っていたとか、悪い話題が噴出。このままでは、次回の総選挙を待たず来年7月の参議院選挙で選挙民から“化けの皮を”剥ぎ取られる恐れさえあるようだ。（憲）だっぴできるのか

★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー      勝池和夫

「世界で最もダイナミックな都市は？」

★★

米国のシカゴに本拠を置く大手総合不動産会社のジョーンズ・ラング・ラサール(JLL)は、世界で最もダイナミックな都市ランキング(The City Momentum Index)を発表しています。世界の約130都市を、向こう3年間のGDP、個人消費、航空機利用客数、商業用不動産市場などの見通しに、教育、イノベーション、環境などの長期の持続的な観点などを加えた30以上の要素で、その活力を分析するものです。以下が2015年と2020年のトップ5です。

JLL 世界で最もダイナミックな都市ランキング

2015年	2020年
1. (英国) ロンドン	1. (インド) ハイデラバード
2. (米国) シリコンバレー	2. (インド) バンガロール
3. (中国) 北京	3. (ケニヤ) ナイロビ
4. (中国) 深セン	4. (ベトナム) ホーチミン・シティ
5. (中国) 上海	5. (インド) チェンナイ

ご覧のように、この5年間に上位が劇的に変化しています。私は活かす通信の9月号で、世界のイノベーションの中心がアメリカのシリコンバレーから、インドのデカン高原にシフトしているとお話ししました。このランキングの変化はまさにその流れを捉えています。デカン高原中央部のハイデラバードにはアマゾンが巨大なオフィスを構えています。その南のバンガロール（現ベンガロール）にはテスラが、EVの現地生産を視野に入れ現地法人を設立しています。

更に2020年のランキングを20位まで見ると、米国のシリコンバレーは9位、赤いシリコンバレーと呼ばれる中国の深センは10位、上海は17位まで順位を下げています。そして北京は見当たりません。2015年の1位のロンドンは、ブレグジットのため20位以内からも離脱しました。一方、インドの都市は2015年にはバンガロールのみ(12位)でしたが、5年後には7都市が20位以内選ばれています。はい、この調査では欧米からだけではなく、「中国の時代からインドの時代」へのシフトもはっきりと読み取れますね。

残念ながら、日本の都市は兩年の20位以内には一つもありません。日本経済の未来に余り期待が持てないのでしょうかね。昨年亡くなられた立花隆氏は日本の未来に大変悲観的でした。その主な理由は人口減と科学技術者の減少です。インドはその真逆にある国です。上記のランキングにはその勢いが表れています。

★★

## ムッシュ望月の映画ランキング+相場展望

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

1, 映画：邦画「梅切らぬバカ」

今年も最後の月になってきた。年間の鑑賞目標の120本は、11月末では129本となり、完全に目標をクリアー出来た。ただ150本には21本まだあり、12月中の達成はかなりハードである。12月19日現在136本。さて11月中に気に入った作品は、「リスペクト」「信虎」「梅切らぬバカ」である。「梅切らぬバカ」は、庭木の暫定法をいったことわざで、桜の枝は切らずにおくのが良い、梅の枝は切る方がよいことから言われているが、桜は織ることも良くない。老いた母親と自閉症の長男で過ごす二人には、亡き父の残した庭にある梅の木を大事に育てることこそが大事であった。しかし、今では通行の邪魔になるほど道にはみ出している。母は一度息子を知的障害者が共同で生活するグループホームに入れるが、息子はホームを逃げ出してしまう。また、母と一緒に生活を選ぶことに。タイトルの「梅切らぬバカ」は対象を適切な処置をしないことを戒める諺に由来している。人間の教育においても桜の自由に枝を伸ばしてあげることが必要な場合と、梅のように手を掛けて育てることが必要な場合があることを意味している。母と息子の素朴な映画であるが、心にしみるものがある。塚地武雄の好演、加賀まりこの1967年以来の主演作である。今年も有難うございました。

## 2, 相場展望：岸田政権は期待に応えられるか??

「子繁栄から、丑つまずき、寅千里を走る」の相場格言による丑年の相場の

最終局面にかかっている。1949年から2019年までの日経平均上昇率の平均では、子は+22.8%、丑は▲6.3%で3勝3敗、寅は+1.8%で1勝5敗となっている。2021年1月2日に日経平均は27,444円であり、今年も過去の干支の呪縛から抜け切れていない。来年の寅年も年間の上昇率で見ると限りボックス相場から抜けきれない可能性がある。ただ3月末には配当利回りの高い銘柄群があり、今年の船株に似た動きをすることになる。また12月末に過去最高の新規公開（IPO）があり、東証マザーズの年末は散々な動きとなっている。これは単なる需給関係によるものだけに、来年早々には解消され、リバウンド相場が期待できる。このような時は、東証マザーズのETFを利用する方が高パフォーマンスに恵まれることに。今年の相場の関門は、米の金利引き上げの時期と回数にある。コンセンサスは、第1回目の予想の多くが6月で、インフレ懸念により前倒しとなると市場は大きな混乱をきたすことに。第1回目が予定通りとなれば、第2回目の時期である。コンセンサスは9月であり、これを中間選挙を意識して先延ばしすると、その影響は大きいものとなる。日本は、特に金融政策の変更はないので、海外の動向に左右されかねない。最近の貿易も米国よりは中国の比率が高まっているだけに、中国の景気動向には注意が必要である。20日に中国は景気後退を受けて、最優遇貸出金利を1年8ヵ月ぶりに0.05%引き下げ3.80%としている。2023年（卯年）は干支別ランキングで第4位の+16.3%だけに、新たな動きは十分出来る。じっくりとTOPIX型のETFを積み立てるタイミングと言えよう。日本の最大のマイナス要因は、7月10日の参議院選挙で自民党が大勝し、その後の政策が財務省寄りになることである。

★★

## 2022年1月のイベント+お知らせ

★★

### 2022年01月の活かす塾・イベント情報

2021年12月吉日

株式投資のグループ投資（投資クラブ）から2000年9月にスタートしたイカスは、20年の時を経て、新しく生まれ変わります。昨年スタートしたサロン・ド・知久を軸に新しい勉強会を立ち上げます。第二弾は勝池塾で、成長するインドをテーマにした勉強会です。

01月05日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

01月11日（火）：16：00～イカス投資塾（昼間）、イカス事務所

01月13日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

01月15日(土)：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所  
01月18日(火)：18：30～イカス投資塾(夜間)、イカス事務所  
01月25日(火)：20：00～アマルフィ投資クラブ  
01月27日(木)：15：00～東京3E投資クラブ、リモート

サロン・ド・知久：

第11回：22年01月19日(水)14：00～16：00 イカス事務所

講師：原真善美氏、基礎からの「日本のことわざ」

新第2回：22年1月21日(金)：18：00～21：00 倶楽部エル

新春カラオケ会、料金は6500円(消費税込み、飲み放題)

第12回：22年2月16日(水)14：00～16：00

講師：三宅あみ氏、江戸文化研究科、「江戸時代に発達した富士塚」

第13回：22年3月16日(水)14：00～16：00

講師：松田聖子氏、経営者が学ぶ九星気学からの開運アプローチ

特別企画：22年2月26日(土)：14：00～16：00 6回シリーズ

講師：勝池和夫氏、アジアコンサルタント

「異次元の成長が期待されるインド経済」

☆You Tube「ムッシュ望月のこれが注目株だ」2021年8月より

毎月2回配信、大好評！！ <https://youtu.be/sal2oyMxie4>

★★

事務局からご案内

★★

☆イカス投資塾の**参加費は1回3000円**で、昼間講座(毎月第2火曜日午後4時から2時間)と夜間講座(毎月第3火曜日午後6時30分から2時間)があります。是非ご参加ください！！個別特別相談は1回1時間1万円。

☆サロン・ド・知久：参加費1回2000円、勝池塾：参加費1回2000円、但し年間費会員は1000円

☆投資クラブ入会希望の方は、info@toushi-club.com宛にご連絡ください。

☆当メルマガの配信登録(無料)希望、アドレス変更、配信解除連絡はホームページからお願い致します。 [www.toushi-club.com/fmerumaga.htm](http://www.toushi-club.com/fmerumaga.htm)

☆具体的な銘柄をご希望の場合は週刊有料メルマガをお申込みください。

週刊有料メルマガ：年間費用24,000円、毎月日曜日配信です。

★★

イカス通信発行人：特定非営利活動法人イカス [www.toushi-club.com](http://www.toushi-club.com)

\*当メールマガジンについてのご意見は以下のメールにお願いします

メール：[staff@toushi-club.com](mailto:staff@toushi-club.com) ☎：03-3432-5859 FAX:03-3432-5869

発行責任者：木下宇一郎

★★